

# マリン薬局「スピルリナ」工場見学特集

こんにちは。スピルリナに出会ってはや8年。今では生活の一部になっている、自称スピルリナ大臣こと河野洋平です。最近では、私の嫁も将来の健康への投資のために関心を持ち始めました。作れるものなら、自宅で栽培しようかと思う今日この頃です。そんな中、幸運にも世界で初めてスピルリナの培養に成功した工場を見学することができましたのでそのお話をしたいと思います。



## 海南島

先月の23日から26日に世界でも珍しい、スピルリナ培養工場に行ってきました。中国地方から1社マリン薬局が選ばれ、他全国から選ばれた薬局の先生方13名と共に参加、場所は中国の海南島、3泊4日の研修でした。成田空港から広州まで約5時間、そこから乗継で海南島まで約1時間。工場までは更に車で1時間の長旅でした。日本との時差は2時間、気温は2月だと雨期に入っており、27度くらい。滞在中は天候にも恵まれ、気温31度と暑いながらも過ごしやすい毎日でした。その工場は世界で2番目に大きく（1番大きい工場はアメリカのカリフォルニアにあります）、海南島の最南端に位置し、熱帯～亜熱帯に属します。（帯～亜熱帯ではないとスピルリナが育たないため）海南島は「東洋のハワイ」と言われており、昨年の外国人観顧客は60万人を超えたそうです。

工場の敷地面積は約23万㎡でなんと、東京ドームの約五個分の広さがありました。



## 施設内

世界中にスピルリナを輸出しているため、管理が徹底していました。スピルリナは、多くの太陽光が必要のため出来すぎると万遍なく太陽光が届かずスピルリナが育たなくなってしまうので、抜いてしまいます。まず、自然界に自生している熱帯の湖と同じように暖かく、キレイな水を使用し、他の生物が生きるのに困難な強アルカリ性の状態で培養します。次に、洗浄、脱水。ここに一番時間をかけていました。人間の目と機械で徹底的にスピルリナに不要なものを取り除きます。次に乾燥させ粉末状にします。粉末のスピルリナを均等な大きさするために振動させながら乾燥させていきます。スピルリナは、他の植物と比べて光合成能力が非常に高く、スピルリナを40L培養すると人間の呼吸に必要な1日酸素(700~800g)が取り出せると言われています。中国の工場とアメリカの工場では年



後ろがスピルリナの培養プール



工場入室前姿

★河野

間生産するスピルリナは800t、と同時に消費する二酸化炭素は1300tになるそうです。

スピルリナは、人間を含め動物の身体栄養源、更には、地球温暖化の減少にも一躍買っているんですね。（地球温暖化の部分は少し大きいかもかもしれませんが・・・(苦笑)



様々な製造許可書類

今回の工場見学を終えて、13名の素晴らしい先生方に会えたこと、そしてスピルリナに対しての熱い思いを語り合うことができた事が、僕にとって大きな財産となりました。そしてマリン薬局全体で今回の研修を応援していただき、感謝しています。また機会があれば参加したいと思っています。